


# 荒川区

## 観光ボランティア ガイドマップ



 荒川区 産業経済部 観光振興課

<https://www.city.arakawa.tokyo.jp/kanko/>

所在地：〒116-8501 東京都荒川区荒川2-2-3  
電話：03-3802-4689  
協力：荒川区観光ボランティアガイドの会

令和2年3月発行 登録(01)0110号

# 荒川区観光ボランティアガイドの会とは

荒川区観光ボランティアガイドは平成18年に発足し、観光スポットや史跡・文化財めぐりを中心に荒川区をご案内しています。

活動は主にお客様が希望されるコースをご案内する「依頼型のまちあるき」と荒川区観光ボランティアガイドがコースを設定し、参加者を募集する「公募型のまちあるき」を行っております。

「公募型のまちあるき」は年に5回程度、お花の季節に行う「花めぐり」、お正月に行う「七福神めぐり」などテーマを決めて、募集をしています。

今回、これまで50回ほど行ってきた「公募型のまちあるき」の主要なコースを冊子にまとめました。こちらの冊子をご覧になって荒川区のまちあるきをお楽しみください。

ご興味がございましたら、荒川区観光ボランティアガイドが観光スポットや史跡・文化財をご案内いたしますので、冊子の23ページにある利用方法をご覧の上、荒川区観光ボランティアガイド事務局までご連絡ください。

また、荒川区観光ボランティアガイドとなり、お客様をご案内するには、荒川区観光ボランティアガイド養成講座の受講が必要となります。養成講座は毎年秋ごろに開催されます。詳細につきましては、荒川区観光ボランティアガイドの会事務局までお問合せください。



荒川区観光ボランティアガイド事務局

TEL 03-3802-4689  
 FAX 03-3803-2333  
 メール kankou@city.arakawa.tokyo.jp



# 荒川区観光ボランティアガイドマップ

## コースMAP



「測量法に基づく国土地理院長承認(使用) R 1JHs 931」  
 地図調製：(株)中央ジオマテックス

## INDEX

荒川区観光ボランティアガイドの会とは — 1  
 コースMAP — 2  
 コース1～10 — 3～22  
 荒川区観光ボランティアガイド利用案内 — 23  
 荒川区観光アプリ「あらかわさんぽ」 — 24  
 イベントカレンダー — 25  
 荒川区アクセスマップ — 26

1 歴史の町 南千住を歩くコース ..... 3  
 2 芭蕉旅立ちコース ～千住宿を歩く～ ..... 5  
 3 花の寺町コース ～ひぐらしの里～ ..... 7  
 4 布の街と根岸界限コース ..... 9  
 5 都電沿線バラめぐりコース ..... 11  
 6 都電で巡る荒川下町コース ..... 13  
 7 汐入のさくら花めぐりコース ..... 15  
 8 彰義隊ゆかりの地を歩くコース ..... 17  
 9 荒川七福神めぐりコース ..... 19  
 10 太田道灌ゆかりの地をめぐりコース ..... 21

# 歴史の町 南千住を歩くコース

Minami Senju Route: Strolling through the Historical Town

歩行距離……約3.5km  
 移動時間……約44分  
 消費カロリー……約145kcal



- ⑤ 南千住駅 → ① 延命寺・小塚原刑場跡 → ② 回向院 → ③ 素盞雄神社  
 → ④ 千住大橋 → ⑤ 荒川ふるさと文化館 → ⑥ 旧千住製絨所煉瓦塀  
 → ⑦ 円通寺 → ⑧ 都電三ノ輪橋停留場 → ⑨ 浄閑寺 → ⑥ 南千住駅



**1 延命寺・小塚原刑場跡**  
 【南千住2-34-5】

品川の鈴ヶ森刑場と並ぶ江戸の刑場で、明治時代初めに廃止されるまで磔(はりつけ)・斬首などが執行されました。「首切り地蔵」が、ここに眠る人々の霊を静かに見守っています。



**2 回向院**  
 【南千住5-33-13】

吉田松陰ら幕末の志士や、鼠小僧次郎吉・高橋お伝らの墓があります。杉田玄白らがここでの死刑者の解剖見学を契機に「解体新書」を翻訳したことから、観蔵記念碑が建てられました。



**3 素盞雄神社**  
 【南千住6-60-1】

区内で最も広い地域の鎮守で、六月の天王祭では担ぎ棒二本のみで神輿を左右に激しく振る二天の神輿振りが圧巻です。また、松尾芭蕉「奥の細道」矢立初めの句碑(荒川区指定有形文化財)があります。



**4 千住大橋**  
 【南千住6-71 付近】

徳川家康が江戸に入って初めて架けた橋です。この辺りは江戸の北の玄関口であり、松尾芭蕉もここから奥州へと旅立ちました。歌川広重の名所江戸百景「千住の大はし」にも描かれています。



**5 荒川ふるさと文化館**  
 【南千住6-63-1】

荒川区の歴史・文化を楽しみながら探求できる施設。長屋などの復元家屋や奥の細道関連ギャラリーもあります。また、無料エリアには、あらかわ伝統工芸ギャラリーや回向院にあった「橋本左内墓旧套堂」の展示も。[観覧料] 100円



**6 旧千住製絨所煉瓦塀**  
 【南千住6-43 付近】

富国強兵・殖産興業政策により軍用の毛織物を製造していた日本初の官営毛織物工場・千住製絨所の煉瓦塀の一部。かつては北は隅田川、南は荒川総合スポーツセンターまで高い煉瓦塀で囲われていました。



**7 円通寺**  
 【南千住1-59-11】

慶応4年(1868)の上野戦争の後、戦死した彰義隊士を供養し、円通寺境内に埋葬したのが円通寺の住職という縁で、上野寛永寺の黒門が移されました。そこに残る弾痕は、戦争の激しさを現在に伝えています。



**8 都電三ノ輪橋停留場**  
 【南千住1-12】

関東の駅100選の一つで、平成19年(2007)に昭和30年代頃をイメージしたレトロ調のデザインに改修されました。隣接する三ノ輪橋おもいで館では、都営交通に関する案内、1日乗車券やグッズ等の販売を行っています。



**9 浄閑寺**  
 【南千住2-1-12】

安政2年(1855)の大地震で被災した新吉原の遊女達の遺体が投げ込まれたと伝えられ、「投込寺」とも呼ばれています。当時の出来事を伝える「新吉原総壘塔」のほか、永井荷風の詩碑があります。

# 2 芭蕉旅立ちコース ~千住宿を歩く~

Bashō's Departure Route: Strolling through the Senju-shuku

歩行距離 ..... 約3.3km  
 移動時間 ..... 約41分  
 消費カロリー ..... 約135kcal



- S 南千住駅 → ① 松尾芭蕉像 → ② 延命寺・小塚原刑場跡 → ③ 素盞雄神社・矢立初めの句碑 → ④ 金子兜太句碑 → ⑤ 千住大橋 → ⑥ 千住神社 → ⑦ 勝専寺 → ⑧ 千住宿本陣跡・見番横丁 → G 北千住駅



**1 松尾芭蕉像**  
 【南千住4-5(南千住駅西口ロータリー)】  
 元禄2年(1689)3月27日(新暦5月16日)、松尾芭蕉は千住の地から奥の細道の旅へと旅立ちました。荒川区では、奥の細道千住あらかわサミット開催を記念し、平成27年3月にブロンズ像(平野千里氏製作)を建立しました。



**2 延命寺・小塚原刑場跡**  
 【南千住2-34-5】  
 品川の鈴ヶ森刑場と並ぶ江戸の刑場で、明治時代初めに廃止されるまで磔(はりつけ)・斬首などが執行されました。「首切り地蔵」が、当時ここに眠る人々の霊を静かに見守っています。



**3 素盞雄神社・矢立初めの句碑**  
 【南千住6-60-1】  
 平安時代の御創建、御鎮座1200有余年の古社。松尾芭蕉「奥の細道」旅立ちの句を刻む矢立初めの句碑(荒川区指定有形文化財)は、江戸時代文政3年(1820)に千住宿に集う文人たちによって建てられました。



**4 金子兜太句碑**  
 【南千住6-63-1(荒川ふるさと文化館正面口)】  
 「荒川千住芭蕉主従に花の春」この句は、俳人金子兜太氏から俳句のまちである荒川区にお寄せいただいた作品です。平成29年3月に奥の細道矢立初めの地である南千住にこの句碑を建立しました。



**5 千住大橋**  
 【南千住6-71 付近】  
 徳川家康が江戸に入って初めて架けた橋です。この辺りは江戸の北の玄関口であり、松尾芭蕉もここから奥州へと旅立ちました。歌川広重の名所江戸百景「千住の大はし」にも描かれています。



**6 千住神社**  
 【足立区千住宮元町24-1】  
 足立郷社。氷川神社と稲荷神社が明治6年(1873)に合祀し、その後、大正4年(1915)に千住神社と改称しました。千寿七福神の恵比寿天として知られ、境内にある富士塚は足立区の登録文化財です。



**7 勝専寺**  
 【足立区千住2-11】  
 「赤門寺」の名で親しまれ、徳川将軍家との縁が深い寺院です。非公開の木造千手観音立像は「千住」の地名の由来になったといわれ、1月と7月の15日・16日には「えんま王坐像」が開帳されます。



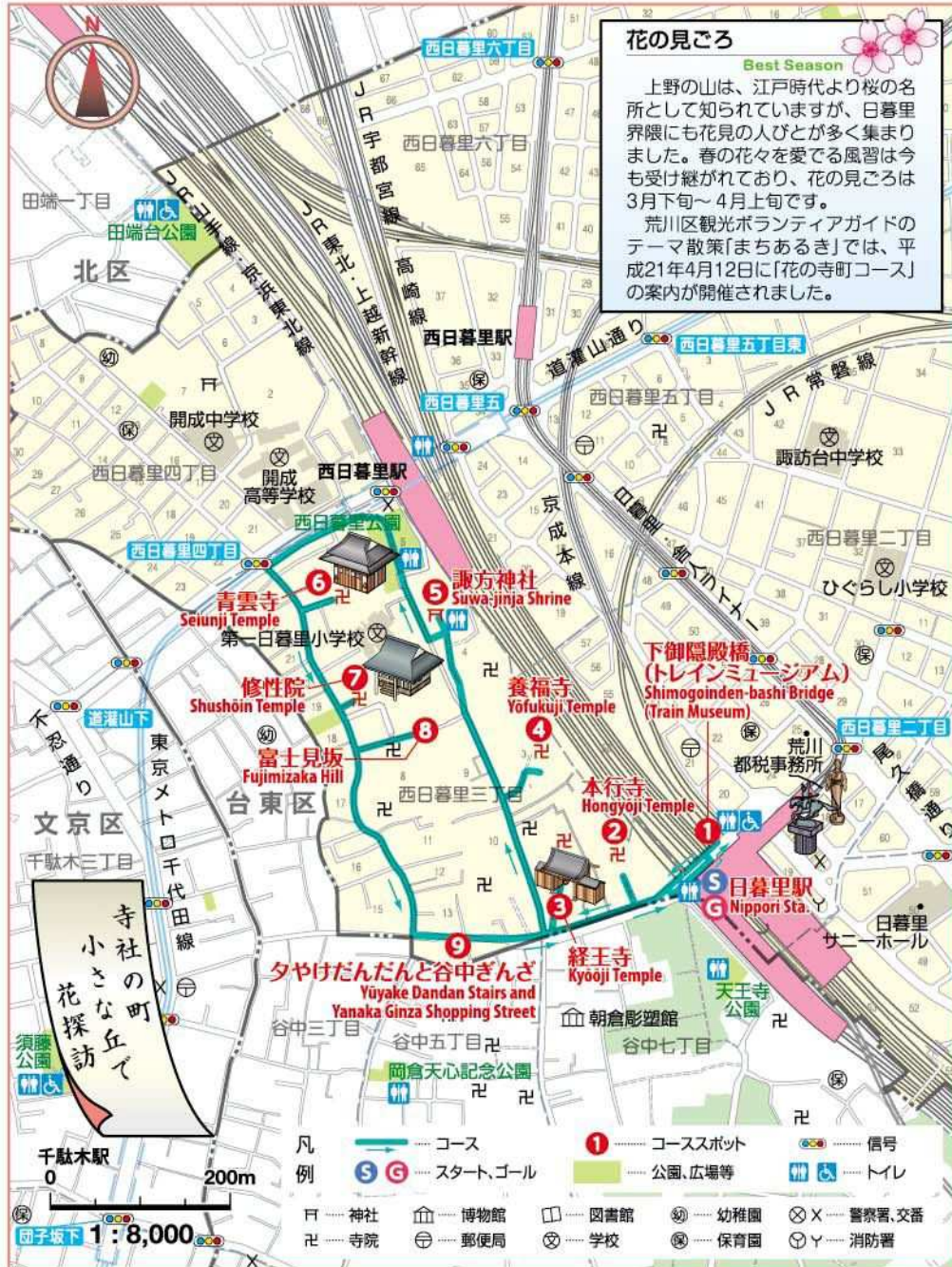
**8 千住宿本陣跡・見番横丁**  
 【足立区千住3-33】  
 本陣は、大名当主や側近が参勤交代時に宿泊や儀礼を行った宿場の中心です。南側の路地には貸座敷の芸者の手配等を行う見番跡があり、由来を記した地元商店会による案内板が往時をしのばせます。



# 3 花の寺町コース ~ひぐらしの里~

Blooming Teramachi Route: Home of Evening Cicadas

歩行距離 ..... 約1.7km  
 移動時間 ..... 約21分  
 消費カロリー ..... 約69kcal



**花の見ごろ**  
 Best Season  
 上野の山は、江戸時代より桜の名所として知られていますが、日暮里界隈にも花見の人びとが多く集まりました。春の花々を愛でる風習は今も受け継がれており、花の見ごろは3月下旬~4月上旬です。  
 荒川区観光ボランティアガイドのテーマ散策「まちあるき」では、平成21年4月12日に「花の寺町コース」の案内が開催されました。



**1 下御隠殿橋(トレインミュージアム)**  
 【西日暮里2-58】  
 この橋の中段には、トレインミュージアムと呼ばれるバルコニーがあります。新幹線や特急列車を始め、山手線、京成線など21種類、一日に約2,500本の列車を見ることができます。

**2 本行寺**  
 【西日暮里3-1-3】  
 月見寺の通称で知られています。風流人に好まれ、小林一茶や種田山頭火などの句碑があり、また、儒学者・市河寛斎、書道家・市河米庵、幕末~明治時代に活躍した永井尚志の墓があります。

**3 経王寺**  
 【西日暮里3-2-6】  
 明暦元年(1655)創建の日蓮宗のお寺で、山門は天保7年(1836)に建立されたものです。境内の大黒堂には、日蓮聖人作という大黒天が祀られています。

**4 養福寺**  
 【西日暮里3-3-8】  
 宝永年間(1704~1711)の建立とされる仁王門の裏側には、平安時代後期に作られた持国天と多聞天の天王像があります。江戸時代初期に活躍した談林派歴代の句碑などがあります。

**5 諏方神社**  
 【西日暮里3-4-8】  
 建御名方命(たけみなかたのみこと)を祀る神社で、長野県にある諏訪大社の分社です。元久2年(1205)に創建され、日暮里(旧:新堀)・谷中の総鎮守として広く信仰を集めています。

**6 青雲寺**  
 【西日暮里3-6-4】  
 江戸時代、花見の場所として賑わったことから「花見寺」とも呼ばれています。本堂脇に「南総見八犬伝」の著者・滝沢馬琴の筆塚の碑と塚家の碑があります。

**7 修性院**  
 【西日暮里3-7-12】  
 妙隆寺(修性院に合併)・青雲寺とともに「花見寺」とも呼ばれている日蓮宗のお寺です。浮世絵師・歌川広重の「名所江戸百景」日暮里寺院の林泉では、修性院境内の春景色が描かれています。

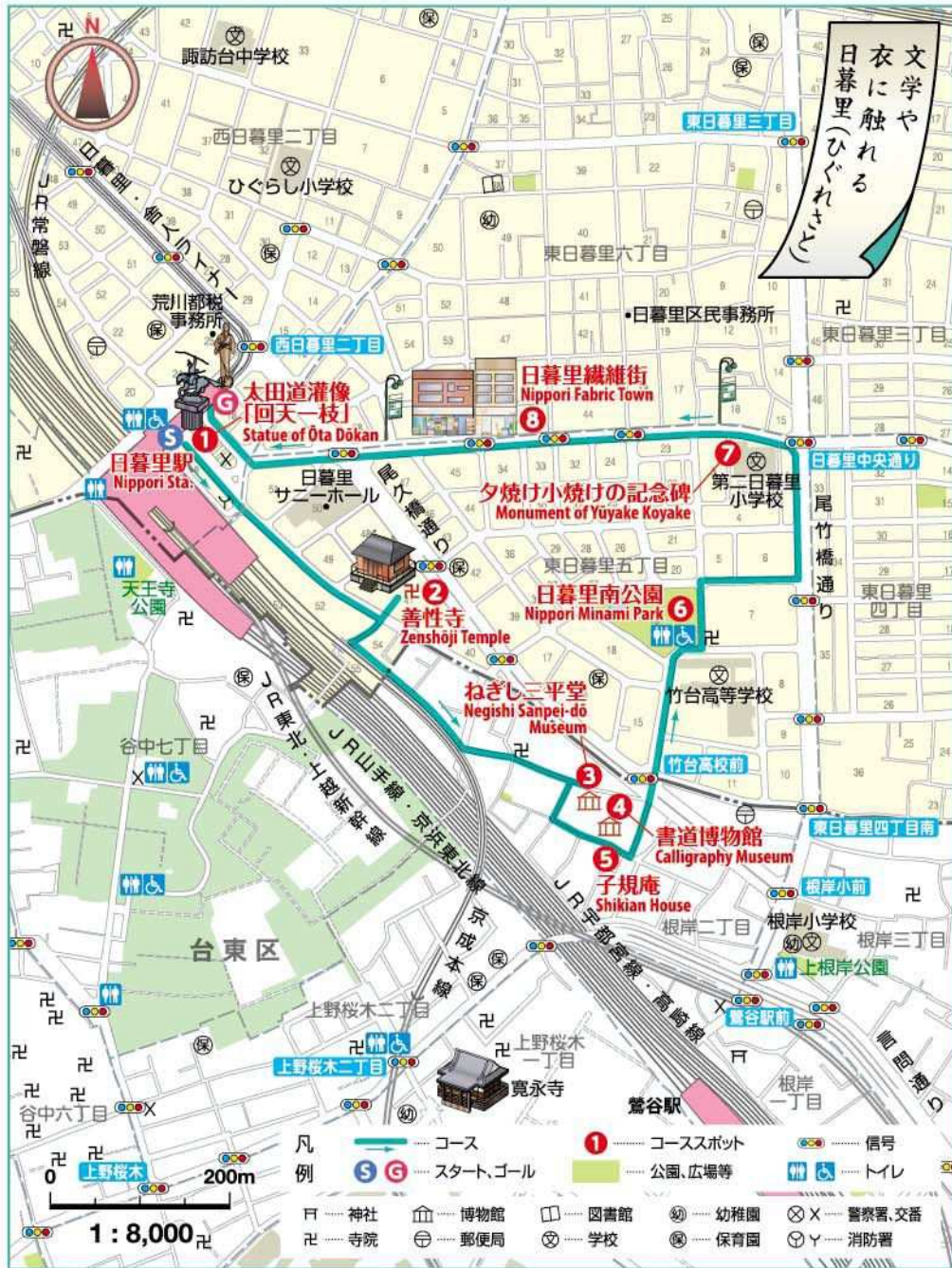
**8 富士見坂**  
 【西日暮里3-7付近】  
 都心に幾つかある富士見坂のうち、地上から富士山が実際に見える日蓮宗のお寺です。「関東の富士見100景」にも選ばれました。

**9 タヤけだんだんと谷中ぎんざ**  
 【西日暮里3丁目~台東区谷中3丁目付近】  
 「タヤけだんだん」は美しい夕焼けを眺められる階段で、一般公募により命名されました。レトロな雰囲気漂う谷中ぎんざ(谷中銀座商店街)の店先の屋根の上には、猫のオブジェ(木製彫刻)があります。

# 4 布の街と根岸界隈コース

Garment District and Negishi Route

歩行距離……………約2.3km  
移動時間……………約29分  
消費カロリー……………約96kcal



**1 太田道灌像「回天一枝」**  
【西日暮里2-19(日暮里駅東口ロータリー)】  
江戸城を築城したことなどで知られる室町時代の武将・太田道灌のブロンズ像です。疾走する馬上で弓を構える道灌の姿は、僧侶にして彫刻家であった橋本活道氏の手によるものです。



**2 善性寺**  
【東日暮里5-41-14】

徳川将軍家ゆかりの寺であり、門前の音無川に架けられた橋は「將軍橋」と呼ばれていました。名横綱の双葉山や総理大臣・石橋湛山の墓、安土桃山時代の作と伝わる「不二大黒天像」があります。



**3 ねぎし三平堂**  
【台東区根岸2-10-12】  
「昭和の爆笑王」と呼ばれた落語家・林家三平の思い出の品々が展示されており、毎月第3土曜日には落語会が開かれます。【開堂日】水、土、日【開堂時間】11:00~17:00【入堂料】600円【落語会木戸銭】1,000円



**4 書道博物館**  
【台東区根岸2-10-4】

洋画家・書家であった中村不折が蒐集した甲骨文、青銅器、石碑、拓本、経巻文書、書跡などの貴重な資料を収蔵・展示しています。【開館時間】9:30~16:30【休館日】月曜、年末年始ほか【入館料】500円



**5 子規庵**  
【台東区根岸2-5-11】

晩年の正岡子規が母、妹と暮らしていました。病間兼書齋と句会歌会の場として、多くの友人、門弟が集いました。【開庵時間】10:30~16:00(12:00~13:00昼休)【休庵日】月、夏季・冬季ほか【入庵料】500円



**6 日暮里南公園**  
【東日暮里5-19-1】

建設省(現・国土交通省)大臣表彰「手づくり郷土(ふるさと)賞」の「小さなふれあい広場30選」に選ばれた大きな噴水広場があり、園内は、常緑樹や四季折々の草花で溢れています。



**7 夕焼け小焼けの記念碑**  
【東日暮里5-2-1(第二日暮里小学校)】

童謡「夕焼け小焼け」は、大正8年(1919)に中村雨紅が作詞した作品です。彼は、大正5年(1916)に第二日暮里小学校に新米教師として赴任し、翌年に第三日暮里小学校に転任しました。



**8 日暮里繊維街**  
【東日暮里3丁目~6丁目付近】

日暮里中央通りの両側約1kmにわたって、生地織物の店が立ち並んでいます。日暮里繊維街の名を全国にアピールするため、デザインコンテストとファッションショーが開催されています。



# 都電沿線バラめぐりコース

Rose Route: Along the Toden (Tram)

歩行距離 約2.3km  
移動時間 約29分  
消費カロリー 約96kcal



- S ① 都電三ノ輪橋停留場 → ② 石川屋敷跡 → ③ 中島弁財天  
 → ④ 大関屋敷跡 → ⑤ 旧三河島汚水処分場唧筒(ポンプ)場施設  
 → ⑥ 荒川自然公園 → ⑦ ゆいの森あらかわ → ⑧ 泊船軒 → G 町屋駅



関東の駅100選の一つで、平成19年(2007)に昭和30年代頃をイメージしたレトロ調のデザインに改修されました。隣接する三ノ輪橋おもいで館では、都営交通に関する案内、1日乗車券やグッズ等の販売を行っています。



伊勢亀山藩(現在の三重県亀山市)の藩主・石川家の屋敷は、ジョイフル三の輪一帯の約1万坪に及び、鉄砲稽古場や広大な庭園、田畑などがありました。屋敷の一部は現在、瑞光公園になっています。



元々は正徳時代に創業した銭湯「元弁天湯」の女湯脱衣場の中庭にありましたが、銭湯が東日本大震災で被災して閉業したため、ジョイフル三の輪(三の輪銀座商店街)近くの当地に移されました。



下野黒羽藩主大関氏は、寛文元年(1661)、幕府からこの地に下屋敷を拝領しました。その範囲は南千住1-1~8、10・11の一部の辺りと推定されます。面積は抱屋敷を含めて8,100坪(約26,700m<sup>2</sup>)でした。



大正11年(1922)に稼働を開始した日本初の近代下水処理場の代表的遺構として、下水道分野では初めて国の重要文化財に指定されました。事前予約により見学可能です。[問合せ] 03-6458-3940



東京都の「新東京百景」に選ばれた公園には、荒川区の地形をかたどった人工池や、楽しく交通ルールが学べる交通園などがあります。[休園日] 第1・第3木曜日(祝日の場合はその翌日)



約60万冊の蔵書規模を誇る中央図書館、荒川区出身の作家・吉村昭氏の記念文学館、体験キットやワークショップなどが楽しめる学びラウンジや乳幼児が親子で雨の日でも遊べるラウンジが一体となった複合施設です。



臨済宗のお寺です。築80年の本堂には、小室翠雲の「雲龍図」、格天井には日本画家による「花鳥風月画」が納められています。境内には、太田道灌の故事による「山吹の家」があります。



# 都電で巡る荒川下町コース

Arakawa Shitamachi (Old Town) Route: On the Toden (Tram)

歩行距離 約2.0km  
移動時間 約25分  
消費カロリー 約83kcal

- ⑤ 都電荒川車庫前停留場 → ① 都電荒川線荒川車庫 → ② 延命子育地蔵  
→ ③ あらかわ遊園 → ④ 煉瓦塀 → ⑤ 寶蔵院 → ⑥ 地蔵寺  
→ ⑦ 大林院 → ⑧ 碩運寺 → ⑨ 八幡神社 → ⑥ 都電町屋駅前停留場



## 1 都電荒川線荒川車庫

【西尾久8-33】

都電の車庫では、6月10日の「路面電車の日」や10月1日の「荒川線の日」の頃に、記念イベントが開催されます。また、「都電おもいで広場」には2両の旧型車両が展示されています。



## 2 延命子育地蔵

【西尾久6-32】

延命・子育てにご利益があるといわれ、寛文9年(1669)・宝永2年(1705)銘の日付供養碑2基のほか、寛永20年(1643)銘の地蔵菩薩や庚申塔など、江戸時代に建てられた石造物があります。



## 3 あらかわ遊園

【西尾久6-35-11】

令和3年(2021)夏頃(予定)のリニューアルオープンに向けて休園中です。観覧車、メリーゴーランド等を更新するほか、休憩・食事スペースを拡張・整備するなど、より魅力的なあらかわ遊園へと生まれ変わります。



## 4 煉瓦塀

【西尾久6-36】

明治時代初期、この地域では煉瓦に適した土がとれたことから、4つの煉瓦工場がありました。その後、工場の跡地はあらかわ遊園になり、工場にあった煉瓦で遊園を囲う塀が造られました。



## 5 寶蔵院

【西尾久3-16-19】

真言宗(和歌山県の根來寺を本山とする新義真言宗)のお寺です。ご本尊は虚空蔵菩薩で、丑・寅年生まれの方の守り本尊です。徳川將軍の馬を繋いだ「駒つなぎのイチヨウ」もあります。



## 6 地蔵寺

【西尾久3-10-6】

本尊の地蔵菩薩は聖徳太子作と伝えられ、子育て地蔵尊として親しまれています。八角堂には干体地藏尊が安置され、文明15年(1483)銘の阿弥陀三尊来迎図が描かれた夜念仏供養板碑があります。



## 7 大林院

【西尾久3-9-5】

八幡神社別当の願勝寺が、明治8年(1875)の神仏分離で廃寺となり、明治22年(1889)に曹洞宗の尼僧寺大林院が建立されました。正和5年(1316)銘の阿弥陀三尊の板碑などがあります。



## 8 碩運寺

【西尾久2-25-21】

大正3年(1914)、住職が井戸の検査を依頼すると、ラジウムを含む鉱泉であることが判明し、寺内に温泉を開業しました。これが尾久三業(料理屋・待合・温泉)の発展の幕開けとなりました。



## 9 八幡神社

【西尾久3-7-3】

創建は、鎌倉時代末期の正和元年(1312)に、尾久の地が鎌倉の鶴岡八幡宮の領地となった頃と考えられています。尾久の総鎮守であり、農業、工業、商業の神様として親しまれています。

- 凡 例
- コース
  - コース(都電乗車)
  - スタート、ゴール
  - コーススポット
  - 公園、広場等
  - 信号
  - トイレ
  - 都電沿線のバ
  - 社
  - 寺院
  - 博物館
  - 郵便局
  - 図書館
  - 学校
  - 幼稚園
  - 保育園
  - 警察署、交番
  - 消防署



# 汐入のさくら花めぐりコース

Shiomi Cherry Blossoms and Other Flowers Route

歩行距離 約5.5km  
 移動時間 約69分  
 消費カロリー 約228kcal



**1 胡録神社**  
 【南千住8-5-6】

かつては大六天と呼ばれた神社です。汐入周辺は、江戸時代から明治時代にかけて、胡粉(人形の上塗りの塗料)が盛んに作られており、境内には、古き石臼が奉納されています。



**2 千住汐入大橋**  
 【南千住8-15付近】

汐入地区と足立区の千住曙町を結ぶ橋は、平成18年2月に隅田川に架けられました。橋名は、昭和41年(1966)に廃止された隅田川最後の渡し舟「汐入の渡し」にちなんで名づけられました。



**3 都立汐入公園**  
 【南千住8-13～8-16】

瑞光橋から水神大橋、千住汐入大橋の先まで、隅田川に沿った形で造られた公園です。南側には運動施設やバーベキュー広場、北側には芝生広場、野外ステージ、展望広場などがあります。



**4 水神大橋**  
 【南千住8-16付近】

昭和63年(1988)に架けられた橋で、橋の名前は対岸の墨田区にあり、水神を祀っている隅田川神社に由来しています。また、かつてこの付近には水神の渡しがありました。



**5 白鬚橋**  
 【南千住3-38付近】

現在の白鬚橋は、昭和6年(1931)に完成しました。以前は「橋場の渡し」「白鬚の渡し」と称される渡船場があり、源頼朝の時代には、舟を並べた浮き橋があったとも言われています。



**6 石浜神社**  
 【南千住3-28-58】

神亀元年(724)に聖武天皇の命によって創建されました。境内には、江戸時代の儒学者・亀田鵬斎の石碑や「伊勢物語」の歌碑があります。浅草名所(なごころ)七福神の寿老人でもあります。



**7 瑞光橋公園**  
 【南千住8-18-1】

隅田川の入り江とスーパー堤防を利用して造られました。かつてあった運河の水門の一部はモニュメントとして残され、入り江の近くまで行けるテラスでは、水辺の生き物などの観察ができます。



# 彰義隊ゆかりの地を歩くコース

Shōgitai Route: Following the Corps' Footsteps

歩行距離 約3.7km  
移動時間 約46分  
消費カロリー 約152kcal



**1 経王寺**  
【西日暮里3-2-6】

明暦元年(1655)創建の日蓮宗のお寺で、山門は天保7年(1836)に建立されたものです。境内の大黒堂には、日蓮聖人作という大黒天が祀られています。



**2 寛永寺**  
【台東区上野桜木1-14-11】

かつての寛永寺は、上野公園のほとんどが寺域で、彰義隊の一部は寛永寺に立てこもりました。上野戦争により寛永寺の伽藍は大半が灰となり、新政府軍の猛攻を受けた彰義隊は壊滅しました。



**3 渋沢栄一墓所**  
【台東区谷中7丁目(都立谷中霊園乙11号)】

徳川幕府、明治政府に仕えた後の実業家・渋沢栄一の従兄・成一郎は、彰義隊結成時の頭取でした。栄一は当時フランスにおり、成一郎らとの書簡を通して、政治情勢や彰義隊の情報を得ていました。



**4 善性寺**  
【東日暮里5-41-14】

寛文4年(1664)に6代将軍・徳川家宣の生母・長昌院がここに葬られて以来、将軍家ゆかりの寺となりました。慶応4年(1868)の上野戦争時には、彰義隊の屯所となりました。



**5 太田道灌像「回天一枝」**  
【西日暮里2-19(日暮里駅南口ロータリー)】

江戸城を築城したことなどで知られる室町時代の武将・太田道灌のブロンズ像です。疾走する馬上で弓を構える道灌の姿は、僧侶にして彫刻家であった橋本活道氏の手によるものです。



**6 松尾芭蕉像**  
【南千住4-5(南千住駅西口ロータリー)】

元禄2年(1689)3月27日(新暦5月16日)、松尾芭蕉は千住の地から奥の細道の旅へと旅立ちました。荒川区では、奥の細道千住あらかわサミット開催を記念し、平成27年3月にブロンズ像(平野千里氏製作)を建立しました。



**7 回向院**  
【南千住5-33-13】

吉田松陰ら幕末の志士や、鼠小僧次郎吉・高橋お伝らの墓があります。杉田玄白らがここの刑死者の解剖見学を契機に「解体新書」を翻訳したこと、観音記念碑が建てられました。



**8 円通寺**  
【南千住1-59-11】

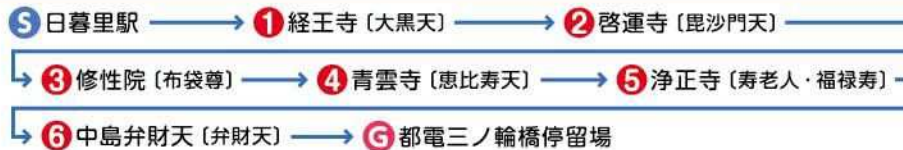
慶応4年(1868)の上野戦争の後、戦死した彰義隊士を供養し、円通寺境内に埋葬したのが円通寺の住職という縁で、上野寛永寺の黒門が移されました。そこに残る弾痕は、戦争の激しさを現在に伝えています。



# 荒川七福神めぐりコース

Arakawa Seven Lucky Gods Route

歩行距離……約4.3km  
 移動時間……約54分  
 消費カロリー……約178kcal



**1 経王寺 (大黒天)**

【西日暮里3-2-6】

日蓮聖人作と伝えられる五穀豊穡・子孫繁栄を司る大黒天が祀られており、旧谷中七福神のひとつでもありました。山門には上野戦争の際に銃撃された弾痕が残っています。



**2 啓運寺 (毘沙門天)**

【西日暮里3-2-14】

啓運寺はもとは上野山下にありましたが、幕末の上野戦争の兵火に達し、明治18年(1885)にこの地に移転してきました。毘沙門堂に祀られている毘沙門天は開運福徳をもちますとして信仰を集めています。

## 荒川七福神

Arakawa Seven Lucky Gods

荒川七福神は、荒川区観光ボランティアガイドのテーマ散策「まちあるき」の開催時に拝観できます。「荒川七福神めぐり」は例年、1月上旬に開催され、12月上旬頃に参加者の募集を行っています。詳細に関しては、荒川区観光ボランティアガイド事務局までお問合せください。



**6 中島弁財天 (弁財天)**

【南千住1-23-11】

芸才豊富・恋愛成就を司る弁財天が祀られています。元々は正徳時代創業の「元弁天湯」にありましたが、銭湯が東日本大震災で被災して閉業したため、ジョイフル三の輪近くの当地に移されました。



- 凡例
- コース
  - スタート、ゴール
  - コーススポット
  - 公園、広場等
  - 信号
  - トイレ
  - 神社
  - 寺院
  - 博物館
  - 郵便局
  - 図書館
  - 学校
  - 幼稚園
  - 保育園
  - 警察署、交番
  - 消防署

新年の開運招福七福神



**3 修性院 (布袋尊)**

【西日暮里3-7-12】

家庭円満・財宝賦与を司る布袋尊が祀られており、「ひぐらしの布袋」とも言われています。谷中七福神のひとつでもあり、お寺の塀には、四季をモチーフにした布袋尊が描かれています。



**4 青雲寺 (恵比寿天)**

【西日暮里3-6-4】

商売繁盛・除災招福を司る恵比寿天が祀られています。江戸時代から「花見寺」とも呼ばれており、谷中七福神のひとつとしても知られる、臨濟宗妙心寺派のお寺です。[拝観・御朱印授与] 1月1日～10日まで



**5 浄正寺 (寿老人・福祿寿)**

【荒川3-53-11】

長寿延命・富貴招福を司る寿老人、人望福徳・俸禄増加を司る福祿寿が祀られています(特定日のみ公開)。境内には多くの石仏・石碑があり、本堂前の三河島観音は、昭和37年(1962)の国電(現JR)三河島事故の修徳を伝えています。

# 0 太田道灌ゆかりの地をめぐるコース

Following the Ōta Dōkan's Footsteps

歩行距離……………約2.6km  
 移動時間……………約33分  
 消費カロリー……………約109kcal



**1 太田道灌像「回天一枝」**  
 [西日暮里2-19(日暮里駅東口ロータリー)]  
 江戸城を築城したことなどで知られる室町時代の武将・太田道灌のブロンズ像です。疾走する馬上で弓を構える道灌の姿は、僧侶にして彫刻家であった橋本活道氏の手によるものです。



**2 「山吹の花一枝」像**  
 [西日暮里2-19(日暮里駅東口ロータリー)]  
 日暮里の地ゆかりの武将・太田道灌の山吹の里伝説にちなんで制作され、道灌が鷹狩の途中で雨にあい裳を借りようと立ち寄った農家で、出てきた娘が裳がないことを山吹の一枝を差し出して伝えたと言われています。



**3 本行寺・道灌物見塚**  
 [西日暮里3-1-3]  
 太田道灌が江戸城を築いた際、斥候台(物見塚)を置いたと伝えられており、道灌丘碑がその歴史を伝えています。この地をしばしば訪れた小林一茶が詠んだ「陽炎や 道灌どの物見塚」の句碑も建てられています。



**4 諏方神社**  
 [西日暮里3-4-8]  
 日暮里(新堀)・谷中の総鎮守諏方神社に伝わる縁起には、道灌が登場します。太田道灌が日暮里に出城を築いた際に、鎮守となり、五石の領地を賜ったと記されています。



**5 道灌山**  
 [西日暮里4丁目付近]  
 太田道灌は、道灌山(西日暮里4丁目)の上に砦を築いたと言われています。西日暮里駅北西部の高台の地域一帯が道灌山と呼ばれています。



**6 青雲寺**  
 [西日暮里3-6-4]  
 江戸時代、花見の場所として賑わっていたことから「花見寺」とも呼ばれています。当時青雲寺の境内だった西日暮里公園には、船繫松と呼ばれる大きな松があり、太田道灌の砦に荷を運んでいた舟人が目印としました。

## 町屋 足を延ばして 太田道灌ゆかりの地 南千住



## 足を延ばして 太田道灌ゆかりの地

**町屋**  
 町屋駅 ↔ **7 泊船軒**  
 歩行距離……………約0.4km  
 移動時間……………約5分  
 消費カロリー……………約17kcal



**7 泊船軒**  
 [荒川7-17-2]  
 臨済宗のお寺です。築80年の本堂には、小室翠雲の「雲龍図」、格天井には日本画家による「花鳥風月画」が納められています。境内には、太田道灌の故事による「山吹の塚」があります。

**南千住**  
 南千住駅 ↔ **8 石浜神社**  
 歩行距離……………約3.0km  
 移動時間……………約38分  
 消費カロリー……………約125kcal



**8 石浜神社**  
 [南千住3-28-58]  
 神亀元年(724)に聖武天皇の命によって創建されました。神社周辺には、太田道灌が庇護した武蔵千葉氏が納められています。境内には、太田道灌の故事による「山吹の塚」があります。

# 荒川区観光ボランティアガイド利用案内

区内の観光スポットや史跡・文化財等を「荒川区観光ボランティアガイド」がご案内しています。荒川区を『まちあるき』される際には、ぜひご利用ください。

## 荒川区観光ボランティアガイドのご利用方法

- ◆ご利用できる方 団体(原則8名〜)でお申込みください。  
※人数はご相談に応じます。
- ◆ご利用できる日 年末年始(12月29日〜1月3日)、お盆(7月13日〜16日)及び8月を除く通年です。
- ◆ご利用時間 午前9時30分〜午後4時までの間の3時間以内です。 ※ご相談に応じます。
- ◆ご利用料金等 ガイド料金は無料です。資料等の配布も原則無料です。  
※ただし、コース上で公共交通機関への乗車や、入館料・拝観料等のある場所でのガイドを希望される場合は、担当ガイド分をご負担いただく場合があります。
- ◆お申込み方法 ご利用希望日の2週間前までに「荒川区観光ボランティアガイド事務局」まで、お電話・メール・FAXにてお申込みください。日程・コースなどご希望をお伺いします。



### 荒川区観光ボランティアガイド事務局

TEL 03-3802-4689 FAX 03-3803-2333 ホームページ  
 メール kankou@city.arakawa.tokyo.jp (二次元コード)→  
 ホームページ https://www.city.arakawa.tokyo.jp/kanko/kankojoho/miryoku/volunteerguide.html



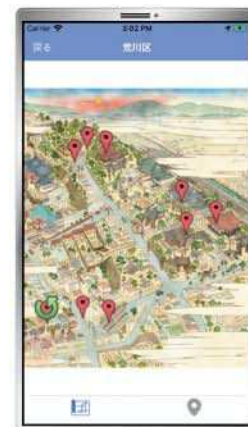
## 荒川区観光ボランティアガイド養成講座

- ◆対象 区内在住・在勤で養成講座に全日程参加ができ、受講終了後は荒川区観光ボランティアガイドとしての活動が可能なる方
- ◆費用 300円(ボランティア保険代)  
※ボランティアガイドとして登録し活動される場合、次年度以降は区が負担します。  
※ご自宅から会場への交通費は、個人負担です。
- ◆開催時期 毎年10月〜12月頃
- ◆募集期間 毎年9月頃(あらかわ区報や、区内各所に配布する募集チラシ等で周知します)
- ◆プログラム 講演、荒川区の歴史・文化財等の講義、まちあるき体験、ガイドトレーニング(実践)等
- ◆定員 15人(申込多数の場合、抽選となります)  
※年度によって開催時期、内容等が異なる可能性があります。  
詳細は荒川区観光ボランティアガイドの会事務局までご確認ください。



# あらかわさんぽ

荒川区観光アプリ「あらかわさんぽ」は、お出かけや観光に役立つおすすめの情報を検索できるスマートフォン用アプリケーションです。区内の公園や観光スポットなどをアプリで紹介しているほか、浮世絵マップやフォトラリーなど散策を楽しむための機能があります。



荒川区を楽しくまわる観光アプリです。日本語、英語、中国語(簡体字・繁体字)、韓国語に対応しています。

### 【アプリの特徴】

- 観る・食べる・体験等、荒川区の観光名所やオススメスポットを紹介、ナビゲートするアプリです。
- おすすめモデルコースの検索もできます。
- さらに、行きたい場所を自由に並べて、オリジナルプランの作成も簡単にできます。(自動コース作成機能付き)
- 日暮里エリアの浮世絵マップも搭載。アプリ上のイラストマップに現在地が表示されます。
- 地図を使ってチェックポイントをまわるフォトラリーチャレンジをお楽しみ頂けます。制限時間内により多くの場所をまわると高得点が得られますので、何度でもチャレンジしてください!
- 移動中 Wi-Fi が入らない場所でも使えるオフライン機能をご提供。
- プランが出来たら、アプリを持って荒川区へGO!

**入手方法** App Store、Google Playから「あらかわさんぽ」で検索。または、右記の二次元コードからアクセスできます。



- 歩きながらの利用は危険です。安全な場所で立ち止まってご利用ください。
- 情報は無料です。ただし、通信料は利用になる方のご負担となります。
- 通信環境や機種、OSのバージョンなどによっては、作動しない場合があります。

# 四季折々の荒川区 イベントカレンダー

# 荒川区アクセスマップ

## 4月上旬 尾久の原公園シダレザクラ祭り



ステージショー、模擬店、大道芸、野店等  
【場所】都立尾久の原公園  
【連絡先】尾久の原公園シダレザクラの会・事務局荒川区道路公園課 ☎03-3802-4483

## 4月29日 川の手荒川まつり・商業祭

パレード、ステージショー、交流都市特産品販売、商業祭パザール、模擬店等  
【場所】区内の公園等、開催年により異なる  
【連絡先】荒川区観光振興課 ☎03-3802-4689



## 5月下旬 あらかわバラの市



バラの鉢花鉢の販売、バラの育て方講習会等  
【場所】町屋駅周辺  
【連絡先】荒川区道路公園課 ☎03-3802-4483

## 10月下旬 あらかわモノスポ



展示、販売、製作体験により荒川区のモノづくりを紹介  
【連絡先】荒川区観光振興課 ☎03-3802-4689

## 11月上旬 日暮里道灌まつり

太田道灌ゆかりの自治体・店舗による物販・観光PRやステージショー、まちあるきツアーの実施等  
【場所】日暮里駅前イベント広場  
【連絡先】荒川区観光振興課 ☎03-3802-4689



## 11月中旬 日暮里繊維街活性化ファッションショー



【場所】日暮里サニーホール  
【連絡先】荒川区産業振興課 ☎03-3802-4674  
※ショーの観覧はメール等で申込の上、抽選

## 7月上旬 あらかわの伝統技術展

※令和2年度は6/26～6/28  
伝統工芸技術の展示・実演、伝統工芸品の販売  
【場所】荒川総合スポーツセンター  
【連絡先】荒川ふるさと文化館 ☎03-3807-9234



## 7月下旬 隅田川花火大会



【場所】隅田川  
(区内では都立汐入公園から見られます)

## 9月中旬 汐入水辺フェスタ

パフォーマンスショー、水辺のコンサート、和太鼓演奏、水辺カフェ等  
【場所】都立汐入公園  
【連絡先】荒川区観光振興課 ☎03-3802-4689



## 3月上旬 あらBOSAI

楽しみながら防災の知識や技術を学ぶことができる防災イベント  
【連絡先】荒川区防災課 ☎03-3803-8711



区内では、他にも様々なイベントが開催されています。詳しくは、荒川区ホームページの「イベントカレンダー」をチェックしてください。

※開催時期や場所は変更の可能性があります。また、開催されない場合もありますので、詳細は各イベントの連絡先までお問合せください。



東京	JR山手線・京浜東北線	約12分	日暮里	約1分	西日暮里	
	JR上野東京ライン～常磐線	約9分		約3分	三河島	約3分
新宿	JR山手線	約19分				南千住
池袋	JR山手線	約10分	西日暮里	約1分	日暮里	
渋谷	JR山手線	約27分				
	JR山手線・京浜東北線	約4分		約1分	西日暮里	
上野	京成本線	約5分		約2分	新三河島	約2分
	JR常磐線	約3分	日暮里	約3分	三河島	約3分
品川	JR東海道線～上野東京ライン～常磐線	約18分				南千住
大手町	東京メトロ千代田線	約10分	西日暮里	約3分	町屋	
	東京メトロ千代田線	約3分	町屋	約3分	西日暮里	
北千住	JR常磐線	約2分				
	東京メトロ日比谷線	約3分	南千住			
	つくばエクスプレス	約2分				
王子駅前	都電荒川線	約21分	町屋駅前	約6分	三ノ輪橋	
成田空港	京成スカイライナー	約36分	日暮里			